

牧リハビリテーション病院

病院案内



Maki Rehabilitation Hospital

Hospital guidance



Medical for Happiness
牧ヘルスケアグループ

私たちの理念

社会的意義

Medical for Happiness

一人ひとりの幸せな人生を支えるために

VISION 実現したい社会



この旗印のもと、私たちは常に挑戦し続けます。

優れた専門性と最新の知見や技術により、
地域医療水準のさらなる向上に尽くします。

地域の医療機関、介護事業所、住民のみなさまと一緒に
地域共生社会を実現します。

予防から急性期、回復期、維持期、在宅ケアなど、あらゆる場面において
ONE TEAM となって全力で伴走します。

私たちは「Medical for Happiness」の実現をめざしています。

PROMISE 私たちの約束

- 「Professional」 医療人としての誇りと謙虚さをもち、日々研鑽を重ねます。
- 「Heart」 あたたかい想いやりの心とともに、あなたに寄り添います。
- 「Team」 和をもった信頼されるチームで、あなたを支えます。

牧ヘルスケアグループ
社会医療法人 ONE FLAG 理事長

牧 恭彦

Maki Yasuhiko



併設施設と連携し、質の高い リハビリテーションを提供します

牧リハビリテーション病院は、回復期の入院リハビリテーションを通じて、住み慣れた街で暮らし続ける“当たり前の幸せ”を取り戻せるようご支援しております。また、併設の訪問リハビリテーション、デイケアと連携し、最適なケアを提供する体制を整えています。

病院の基本方針

1. 家庭や社会への復帰が少しでも早くできるよう、機能向上のための的確で充実したリハビリテーションをチームで集中的に行います。
2. 介護予防や生活習慣病予防を含めたリハビリテーションの知識を地域に広く発信し、より良く安心な在宅での生活を支援します。
3. 職員はお互いの専門性を認め合い、協力し、和みと進歩のある職場をめざします。



院長
泰永 募
Yasunaga Tsunoru

日常生活動作の向上をめざし、一日も早くご自宅での生活や職場に復帰できるように支援します。

脳血管障害や下肢骨折、脊椎損傷などの病気を発症した患者さんで、急性期病院を退院された方を受け入れているのが、回復期リハビリテーション病院です。ここでは、本人・家族、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカーなどがチームでリハビリテーションに取り組むことで、日常生活動作の向上をめざし、一日も早く、ご自宅での生活や職場に復帰できるように支援します。

入院対象となる疾患

対象となる疾患	
1	脳血管疾患／脊椎損傷／頭部外傷／くも膜下出血のシャント手術後／脳腫瘍／脳炎／急性脳症／脊髄炎／多発性神経炎／多発性硬化症／腕神経叢損傷／義肢装具訓練を要する状態 高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害／重度の頸髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷の場合
2	大腿骨／骨盤／脊椎／股関節／膝関節等、膝から上の骨折、二肢以上の多発骨折の発症後または手術後
3	外科手術、または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有している状態の手術後または発症後
4	大腿骨／骨盤／脊椎／股関節／膝関節の神経、筋、靱帯損傷
5	人工股関節全置換術（THA）・人工膝関節全置換術（TKA）

回復期リハビリテーション病院への入院は上記のような入院基準があります。

入院に関するご相談は

当院への入院に関するご相談は、地域連携室の担当ソーシャルワーカーへお問い合わせください。

相談窓口

TEL 072-887-0065

チームによる高度なリハビリテーション

当院のリハビリテーションは、脳血管疾患、運動器リハビリテーションの最高施設基準を取得しており、専門的なリハビリテーションに対応します。

リハビリテーションの基本は、患者さんご家族、そしてスタッフ全員が一体となって取り組むチーム医療です。医師や看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、栄養士、薬剤師、介護福祉士など、それぞれが専門性を発揮して、問題・課題に対応し、一日も早い「家庭・社会復帰」をめざして支援を行っています。

医師

専門の医師が、医療的な管理をしながら、在宅復帰に必要なリハビリテーションの指示を行います。チームのリーダーとして、患者さん・ご家族をサポートします。

理学療法士

物理療法や運動療法を担当。けがや病気による機能障害をもつ方の歩行を中心とした基本的動作の回復を図ります。

作業療法士

身体に障害がある方に、生活に必要な作業活動の回復をサポートします。可能な限りご家庭での生活が自立できるように支援します。

言語聴覚士

脳損傷により生じた失語症・構音障害・嚥下障害・高次脳機能障害をもつ方に対して、最大限の回復を図るとともに、自立と社会参加を支援します。

看護師

24時間寄り添う看護師として、全身状態の管理、患者さん・ご家族のニーズを把握し、他職種と連携を図り、退院支援に取り組めます。

患者さん・ご家族
患者さんご家族もチームのメンバーです。



介護士

セラピストや看護師と連携を図り、身近な存在として日常生活の援助を行い、一日も早く“お家へ帰ろう”を支援します。

薬剤師

効果的で安全な薬物療法、患者さんに適した服薬支援を行います。薬に関する相談など、お気軽にお声を掛けてください。

管理栄養士

安全で美味しい食事を基本とし、患者さんの身体状況や病態に合わせた栄養ケアプランを提案しています。

放射線技師

最新の撮影システム導入により被ばくを軽減しています。また16列ヘリカルCTを用いて3D等の高機能検査を行っています。

医療ソーシャルワーカー

当院への入院に関するご相談、入院中・退院後のさまざまな不安に関するご相談をお受けしています。

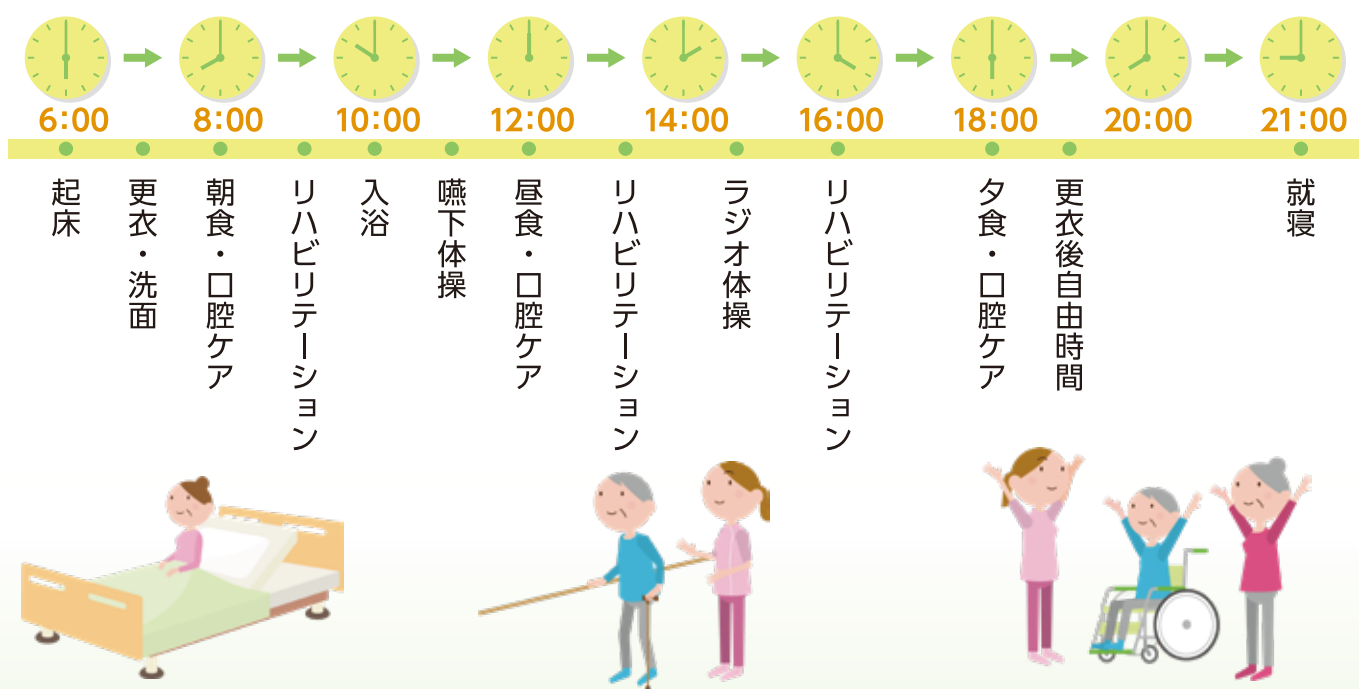


1日の動作すべてがリハビリテーションです 患者さんの状態に応じ、支援を行います

食事、更衣、入浴、トイレまでの移動など、当院で過ごされる
1日の動作一つ一つが、そのままリハビリテーションにつながります。

生活の中にリハビリテーションを融合することで、より効果的な心身機能の回復が期待できます。

入院中のある1日の流れ



①食事は食堂で

②洗面は洗面所で朝夕、
口腔ケアは毎食後

③入浴は週3回

④更衣は毎朝夕

受付・待ち合いホール

落ち着いた空間でゆっくり快適に
お過ごしいただけます。

MAKI
REHABILITATION
HOSPITAL

施設・設備紹介

より良い環境を整え、地域の生活に戻るための最大のサポートをいたします。



理学療法室

けがや病気による機能障害をもつ方の身体機能の回復や維持をめざし、リハビリテーションを行う専用の施設です。



作業療法室

お身体の状態にあわせた、さまざまな日常生活動作の改善のためのリハビリテーションプログラムを提供します。



言語聴覚療法室

明るく爽やかなスタッフが落ち着きのある個室でリハビリテーションを提供します。

食堂・談話室（デイルーム）

1日3回の食事は大切なリハビリテーションの場でもあります。明るく広いスペースで食事以外の時間はレクリエーションの場としても活用できるようになっています。



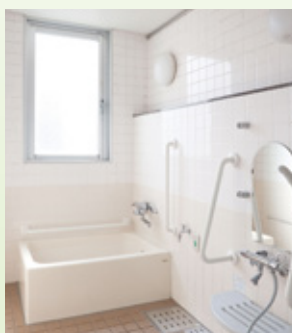
病 室

プライバシーを考慮した、ゆとり設計の病室。各部屋にトイレ、洗面所を完備し、在宅での生活をイメージしたリハビリテーションが行えるようにしています。



浴 室

家庭復帰後の生活を考慮し、リハビリテーションも兼ねて週3回の入浴を実施しています。



福祉用具

入院中・退院後の生活に必要な日常生活用品や歩行補助用品などを取り揃えています。患者さんに快適で心地よい生活を送っていただくために、法人内の「牧ふくし用具」と連携し、販売しています。



デイケア門真（併設施設）

介護保険指定の「通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション」事業所です。地域に暮らす利用者さん一人ひとりの生活に着目し、それぞれに応じたリハビリテーションを行っています。



訪問リハビリテーション門真（併設施設）



リハビリテーション専門職員がご自宅へ伺い、日常生活動作、介助方法、飲み込みの練習など、状態に応じたリハビリテーションを行います。退院後の方、在宅生活で不安をお抱えの方にご利用いただいております。

